

No. 1274

よりよい環境を

美しいたたずまいを見せる多摩川。人々はこうした自然を生活の場とし、憩いの場としてきました。しかし今、この美しい川の流れも心ない一部の人々のため汚染されつつあります。水面に絶えることなく浮かぶ洗剤のあわ。早朝のラジオ体操を続ける東京・千代田区のある商店会のグループ。このグループは三年前「ごみなくそう会」を結成、体操のあと、地元駅周辺の清掃を行うことを日課としてきました。この会の一人は『あんまり汚ないので、皆でやろうじゃないか』ということになったと話しています。私たち、一人一人が“町の美化”を心がけることから、次の世代にも残せるよりよい環境が生まれるのです

「モスクワ」へ前途多難

— 日ソ対抗バレー (女子) —

日ソ対抗バレーボール女子最終戦、全日本対ソ連の試合は6月11日東京都体育館に満員の観衆を集めて行われました。日本2勝1敗迎えたこの試合、第一セットを6対3とリードして好調な滑り出し。しかしソ連は総力戦で望み、7連続得点をうばい、あっさり逆転。第一セットは15対9でソ連がものにします。第2セットに入り全日本は中盤から必死の反撃を開始します。ソ連コロジャズナヤのスパイクミスをきっかけに、江上のブロック、エース須藤の強打、矢野、江上の速攻など次々に見事な攻撃を展開、13対6から一気に追い上げます。

しかし全日本の粘りもここまで、マッチポイントを迎えたソ連はコロジャズナヤの強打がきまって第2セットも連取します。第3セット全日本は新人鈴木を送り、反撃のチャンスをうかがいます。しかし攻守の歯車がガッチリ合ったソ連には通じません。新鋭マカゴノワ、チュルニシヨワの力強いスパイクが全日本を押しまくります。結局第3セットもソ連が取り、最終戦を飾りました。白井、松田というチームの柱を失った全日本、2年後にモスクワ五輪を控えて前途多難のようです。